

事業名		子ども・若者事業（単発講座）				
予算	歳入予算（円）	歳入実績（円）	歳出予算（円）	歳出実績（円）		
平成3年度			報償費354,600 需用費160,000	報償費179,900 需用費102,181		
令和4年度			報償費226,800 需用費100,000	報償費157,000 需用費3,124		
事業の位置付け	根拠法	社会教育法、狛江市立公民館条例、狛江市立公民館条例施行規則				
	市の基本計画	狛江市前期基本計画 まちの姿6「生涯を通して学び、歴史が身近に感じられるまち」 施策6-①「地域における学びの充実」方向性2「生涯を通じた学びの実現」 第3期狛江市教育振興基本計画 基本方針（4）生涯を通じた学びの充実 ①学びの環境づくり「地域の身近な場所で学ぶことができる環境の充実を図ります。」				
事業目的	身近な題材をとりあげ、ものを作り、遊び、学びの中で喜び創造を高め、学校、年齢をこえた仲間づくり。青年男女を対象に楽手と仲間づくりをする。		持続可能な開発目標（SDGs）			
事業内容	開催頻度	7回実施				
	新規・継続	継続	実施主体	市		
	実施対象	市民	参加者数	延84人		
事業評価 ＜評価視点＞	評価項目	評価理由		評価		
	＜周知＞ 市民に周知されているか	▼講座によってばらつきはあるものの、全体を通しては、約6割の方に参加いただくことができました。		公民館	公運審	全体 B
				B	B	
	＜環境＞ 事業の実施に伴い、人員、設備、衛生面等は適切であるか	▼コロナの感染予防として、検温や消毒の徹底を行った。 ▼講師とも打合せを密に行い、人員や設備の面からも不足なく、すべての講座を無事に終了できた。		公民館	公運審	全体 A
				B	A	
	＜満足度＞ 参加者にとって満足のいく内容であったか 利用者のニーズを反映できているか	▼事業全体を通して、「大変良かった」、「良かった」の回答を9割以上のアンケート回答者からいただくことができたので、大きな満足度を参加者へ提供できたと言える。		公民館	公運審	全体 A
A				A		
＜達成度＞ 公民館が目的を達成できたか 市の課題解決に役立っているか	▼参加者も一定数確保できていることから、「現役・将来世代の継承」の実現に寄与できたと言える。 ▼テレビ番組制作の裏側や、ミュージカルの体験等、学校では学ぶことができない講座を提供できた。		公民館	公運審	全体 B	
			B	B		
＜企画・計画性＞ 実施するにあたって企画を深められたか 計画的に実施することができたか	▼公民館全体というよりは、職員が個別に講座を検討、実施している。 ▼講座を実施するにあたっての目的や意図が明確に定められていない。		公民館	公運審	全体 B	
			C	B		
今後の課題	▼小・中学生を対象とした講座だけでなく、親子で参加できる講座や高校生・大学生向けの講座等、対象者の全体のバランスを見ながら増やす必要がある。 ▼参加率が低い講座もあるため、夜間での実施や優れたキャッチコピーの作成等、講座の時間帯や周知方法に工夫を加える必要がある。また、子ども・若者のニーズを調査し、講座に活かせるとなお良い。 ▼年間スケジュールを立てて、事業全体のバランスを見ながら、講座を決定する必要がある。また、講座を決定するにあたっては、その目的や対象を明確にして、企画・運営に取り組む必要がある。					
総合評価	▼市民協働や官学協働、官民協働といった様々な形式で新しい講座を実施できているのは高く評価できる。 ▼児童館や学校等といった他の公共施設ではあまり提供できない学びや時間を、公民館ができるよう意識いただきたい。 ▼本事業に参加した子ども・若者は、大人になってからも公民館に慣れ親しむ可能性がある。公民館の担い手の継承ができるよう引き続き注力いただきたい。					